

# 稲盛和夫さんの青少年期に学ぶ 「レジリエンス」の授業

本授業で使った教材

内閣府が2013年に実施した「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」によると、日本の子どもや若者たちは、諸外国に比べ、自分に自信がなく、将来に明るいイメージを持たず、仕事・勉強に挑戦する意欲が低いという結果が出ています。そのような現代の子どもたちに「生きる力」を育む授業・教材を創りたい。そう考え、RITUALABOでは、2015年11月、立命館中学校及び甲南女子大学にて、稲盛和夫さんの青少年期の伝記を基にした授業を行いました。

この授業の目的は、稲盛さんの人生を理解することによって、困難を乗り越えて成長する力「レジリエンス」について知り、これからの人生で挫折や困難に出会ったときに思い出し、役立ててもらいたいこと。そのために、①稲盛さんの人生を追体験する②自分自身に引き付けて考える③学んだ内容をリフレクション(内省)

する という3つの要素をワークに組み込んでいます。

個人ワークの結果をグループやクラスでシェアすることで、自分以外の視点・考え方をすることも、ここで体験してほしいことのひとつ。困難を乗り越えられない、挫折から立ち直れない、いわゆる「心が折れる」という現象には、事実を一方からしか見ることができない視野の狭さが関係しています。この授業では、稲盛さんの考え方を軸に、クラスメイトと話し合い、自らの考え方を広げ深めていきます。

この授業での気づきを、生徒・学生がこれからの人生で挫折や困難に出会ったときに役立て、成長の糧にしてほしい。そう願っています。



立命館中2年3組・4組のグループワークの様子

## 授業の流れ 立命館中学2年3組・4組での授業展開(50分×2時限)

### 1 導入：授業の紹介

- 今回の授業で学ぶ「レジリエンス」についての説明
  - ◆ レジリエンス(曲がっても折れずに元に戻る力)という概念をイメージできるよう、立命館中学校がある長岡京の特産品「竹」を使って解説。
  - ◆ 人物の例として、ソチオリンピック、ショートプログラムで失敗した後、フリープログラムで復活した浅田真央選手の例を紹介。

### 2 導入：稲盛和夫さんの紹介

- 経営者としての稲盛さんについてスライドで紹介(京セラ・KDDI創業、JAL再生など)
- 稲盛さんの少年期・青年期のライフストーリーの節目となったできごとをスライドで紹介

### 3 稲盛さんの体験を自分に引き付けて考えるワーク

- 個人ワーク：自分の大切な人(友だち、兄弟姉妹など)が稲盛さんと同じような困難な状況に陥ったら、どんな風に声をかけるか考える。
  - ◆ 第1志望の大学に行けなかったら?
  - ◆ 不況のため就職活動で苦労し、せっかく入った会社も倒産寸前だったら?
  - ◆ 当時は回復が困難だった結核のような病気がかかったら?
- グループワーク：声掛けの内容を4人グループで共有。他のメンバーの考え方を知り、その中で最も共感を得た声掛けを、それぞれ選んでもらう。
- 全体ワーク：グループ毎に発表。ファシリテーターがホワイトボードに書き、クラス全員で、もし自分が当事者だったら、どのように声をかけてもらったらうれしいかを考え、発表していく。



発表した声掛けを、分類して板書します。

### 4 稲盛さんの少年期・青年期を描いたテキストを読み、レジリエンスを感じる箇所をグループで共有するワーク

- 個人ワーク：気になる箇所、共感する箇所など、メモを取りながらテキストを読む。
  - グループワーク：各自で読んだ内容をシェアしあい、挫折や苦難を乗り越えて成功する稲盛さんの生き方について語り合う。
  - プレゼンテーション：稲盛さんのレジリエンスを、一番感じた箇所を発表し、クラス全体で共有する。
- ※ 甲南女子大学で試行した授業では、分担してテキストを読んだ後、グループワークで稲盛さんの「人生グラフ」を作成、発表しました。

### 5 リフレクション

## 生徒・学生の感想(抜粋)

### 立命館中学(2年3組・4組)

- 稲盛さんのように辛いことが2度3度重なっても、めげずに目標をもって生きる人生はカッコいい。挫折を糧にして高い目標を持てたらしい。
- 何事もポジティブに考えると、継続する力が生まれることに気付きました。辛い時も嫌な事もバネにして伸びていけたらいいなと思いました。
- どん底に落ちても、物事をポジティブに捉えられるのがすごい。自分も部活中にテンションが下がっていくことがあるけど、その時もポジティブに捉えて頑張りたいです。
- こんな辛いことがあったのに、がんばって幸せをつかみ取ろうとする姿勢がすごい!
- 挫折しても、物事を前向きに捉えて、その場所ががんばったところがすごいと思えました。会社でうまくいかず、それを忘れるためにひたすら研究するということがありましたが、自分でもうまくいかない時に同じようなことをするなと思いました。
- どんな時でもあきらめず、進んでいったからこそ、結核を治し、高校に入り、そして今、幸せをつかんだんだと思いました。こんなすごい人でも挫折していると知りました。

- 土井先生も生徒思いで、稲盛さんも土井先生の意見もしっかり受け止めていて、いいと思った。(土井先生稲盛さんの小学校の担任。稲盛さんが中学に行けるよう尽力してくれた。)
- 「考えることが人生を変える」という考え方にびっくりしました。
- 人生に不幸が連続して起こっても、考え次第で未来が変わっていくことを知りました。
- 継続すること、熱意、考え方を変えるなど、大切なことをいろいろ学べた!
- 何度挫折してもまた立ち上がって、いつも前を向いていて本当に尊敬すると思った。
- 無償でリスクのある(JAL)再建に挑んだこと。挑戦し続ける勇氣。
- 天才ではない。最初から頭がよかったり、何でもできたわけではないところがいい。
- 稲盛さんの考えを知ることが、新しい考えが生まれてとてもいい勉強になった。

- 土井先生も生徒思いで、稲盛さんも土井先生の意見もしっかり受け止めていて、いいと思った。(土井先生稲盛さんの小学校の担任。稲盛さんが中学に行けるよう尽力してくれた。)
- 「考えることが人生を変える」という考え方にびっくりしました。
- 人生に不幸が連続して起こっても、考え次第で未来が変わっていくことを知りました。
- 継続すること、熱意、考え方を変えるなど、大切なことをいろいろ学べた!
- 何度挫折してもまた立ち上がって、いつも前を向いていて本当に尊敬すると思った。
- 無償でリスクのある(JAL)再建に挑んだこと。挑戦し続ける勇氣。
- 天才ではない。最初から頭がよかったり、何でもできたわけではないところがいい。
- 稲盛さんの考えを知ることが、新しい考えが生まれてとてもいい勉強になった。

学生が作った「稲盛さんの人生グラフ」

